

シンポジウム

シンポジウム1 「まだまだある電気泳動の技術開発と活用」

12月6日

13:00 ~ 14:20

座長：大石 正道 (北里大学 理学部)

亀山 昭彦 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

- S-1 低濃度SDS抽出液を使った新たな電気泳動の利用法
大石 正道 北里大学 理学部 物理学科 固体物理学
- S-2 電気泳動が切り開く小麦粉品質に影響するタンパク質の解析
木澤 恵子 日清製粉株式会社
- S-3 オープン流路電気泳動とセルフリーDNA分離への応用
二井 信行 芝浦工業大学 工学部
- S-4 哺乳類D-アスパラギン酸エンドペプチダーゼの発見
伊藤 弦太 帝京大学 薬学部 生体分子化学
- S-5 種々酵素活性検出を組み合わせた多次元ネイティブ電気泳動技術の構築
島崎 洋次 愛媛大学大学院 理工学研究科

シンポジウム2 「医学生物学研究：分子レベルの病態把握からモデル系そして治療法の開発まで」

12月6日

15:40 ~ 17:00

座長：黒川 真奈絵 (聖マリアンナ医科大学大学院)

近藤 格 (国立がん研究センター研究所)

- S-6 ゲル電気泳動を活用した疾患プロテオフォーミクス
武森 信暁 愛媛大学 学術支援センター
- S-7 タンパク質の翻訳後修飾の網羅的な定量解析法の開発と医学生物学研究への応用
永井 宏平 近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科
- S-8 Tumor-microvessel-on-a-chipによるがん細胞クラスターの血管侵入現象解析
近藤 誠 東京大学 生産技術研究所
- S-9 プロテオミクスを応用したトリプシン分解腸内常在細菌の発見
渡辺 栄一郎 北里大学 医学部 一般・小児・肝胆膵外科

シンポジウム3 「医療に貢献する電気泳動法」

12月7日

10:40 ~ 12:00

座長：井本 真由美 (近畿大学病院 中央臨床検査部)

山田 俊幸 (自治医科大学 臨床検査医学)

- S-10 電気泳動法の病院検査室での現状
新関 紀康 浜松医科大学 医学部附属病院 検査部
- S-11 モノクローナル抗体の多様性と免疫学的検査薬における性能への影響について
高塚 直幸 栄研化学株式会社 応用技術研究所
- S-12 臨床化学検査プロセスのチェック ~反応過程近似解析ツールMiRuDaのご紹介~
井口 晃弘 株式会社日立ハイテク ヘルスケア事業統括本部 那珂診断製品本部 医用アプリケーション開発部
- S-13 人を育て、医療に貢献する電気泳動法と検体検査のパラダイムチェインジ
桑 克彦 一般社団法人 臨床検査基準測定機構

シンポジウム4 「電気泳動法を基盤としたプロテオミクスの現状と今後の展望」

12月7日

15:10 ~ 16:30

座長：木村 弥生 (横浜市立大学 先端医科学研究センター)

小寺 義男 (北里大学 理学部)

- S-14 Native PAGEを用いたハイスループットGeLC-MS/MSによるタンパク質複合体解析法の開発と応用
紺野 亮 かずさDNA研究所
- S-15 翻訳後修飾としてのチロシン硫酸化の機能解明
榎原 陽一 宮崎大学 農学部 応用生物科学科
- S-16 全自動二次元電気泳動装置Auto-2Dを用いた腫瘍関連プロテオフォームの解析
荒木 令江 熊本大学 生命科学部